

Q&A

一般質問



うえじょう
植條 敬介 議員
自民党市政会



人材育成から始めるDX推進を

Q 副業人材の採用や、官民人材循環など様々な手法を活用し、人材育成からDX推進を行っていくべきと考えるが、所見を伺う。

A 副業人材や官民人材交流、さらには地域おこし協力隊、地域活性化事業、人材派遣の企業版ふるさと納税などを活用することにより、様々な分野において、多様な人材が多様な形態で、本市の新しいまちづくりに参加し、さらにはデジタル技術を活用することにより、効率的で魅力のある地方創生に向けた取組を推進することができると考えています。

(政策部長)

質問の主な項目

- ・ 坂出再生に向けた新たなまちづくりについて など

持続可能な地域医療提供体制の確保を

Q 持続可能な地域医療提供体制の確保についてどのように考えているか。

A 今後の医療体制の充実には、医師・看護師など国家資格が最重要とされる医療職の人材確保が最重要と考えているものの、病院独自の医師確保は現実的ではないことから、関連大学との連携をさらに深める必要があると考えています。

また、本市及び近隣市町における継続的医療提供体制を確保するためには、医療アクセスの利便性を担保しつつ、地域医療構想に掲げる地域完結型の医療体制を構築することが重要と考えています。医療連携や役割分担、集約化も必要ですが、十分でない面もあることから、当院が地域医療提供体制づくりの中心的役割を担っていきたくと考えています。

今後は、様々な観点から検討を行い、経営強化プランを策定していきます。

(病院事業管理者)



おがさわらひろし
小笠原 浩 議員
国民民主党議員会



広報さかいでのさらなる活用を

Q 市長が本市の最重要課題として取り組んでいる事業を広報紙に掲載することにより、市民から幅広く意見を出してもらえると考えるが、いかがか。

A 広報さかいでは、坂出再生に向けたまちづくりの取組状況について、いち早く情報を発信するため、「まちづくり通信」コーナーを設けており、坂出駅前や緩衝緑地の再整備などの最新情報を掲載しています。

一方、市民から幅広く意見をいただく広聴活動については市長へのメールや目安箱により、簡単に意見や提言をいただくことが可能になっており、活用していただきたいと考えています。

(市長)



不妊治療に対する支援を

Q 保険適用を契機に助成金が廃止となったことにより、混合診療になれば全額自己負担となる問題がある。保険適用以前に行っていた助成制度を実施してはどうか。

A 本市独自の支援については、子供を持ちたいという方々の気持ちに寄り添い、喫緊の課題である少子化への対応、本市の子育て支援の推進を図るため、現在、県や他市の状況、医療機関における実態など情報収集を行い、検討しています。

(健康福祉部長)

